

12

Capture

12 章 次年度開始処理

次年度開始処理	2
1. 次年度開始処理	2
2. 次年度開始処理 (再).....	4

次年度開始処理

年度を更新して、新しい年度の仕訳入力を開始するための処理です。

※処理を行う前に必ずバックアップをお取りください。

1. 次年度開始処理

決算処理メニュー → 次年度開始処理

1. 年度を更新する拠点区分を選択し をクリックします。

拠点区分	当年度
<input checked="" type="radio"/> 1. サービス保育園	平成24年度
<input type="radio"/> 2. サービス施設	平成24年度

年度を更新する拠点区分を一つ選択し、「次へ」をクリックしてください

2. 当年度と次年度が間違っていないか、必ずご確認ください。
3. 問題がなければ「年度更新する」にチェックを入れ をクリックします。

001. サービス保育園					
当年度	平成24年度	期首年月日	24-4-1	期末年月日	25-3-31
次年度	平成25年度	期首年月日	25-4-1	期末年月日	26-3-31
科目マスタ	更新しない				

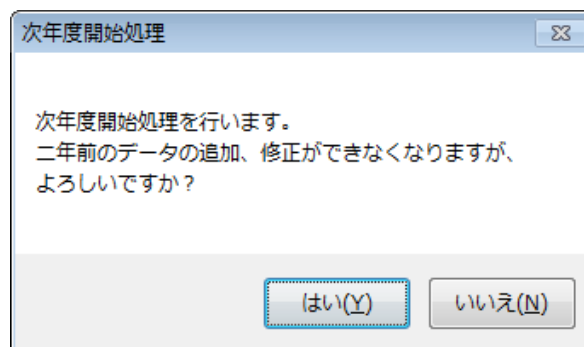
年度更新する

4. 前年データの登録、編集は可能です。

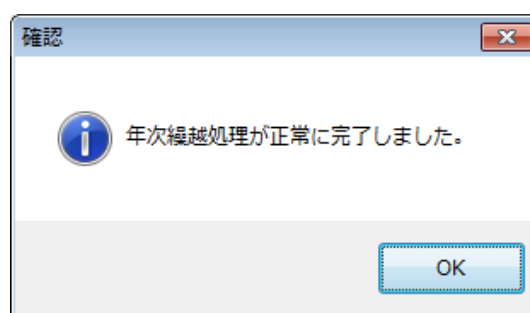
2年前のデータについては修正ができなくなります。(参照は可能です。)

また、前年の修正をおこなった場合、翌年への繰越も反映されます。

問題がなければ、 をクリックします。

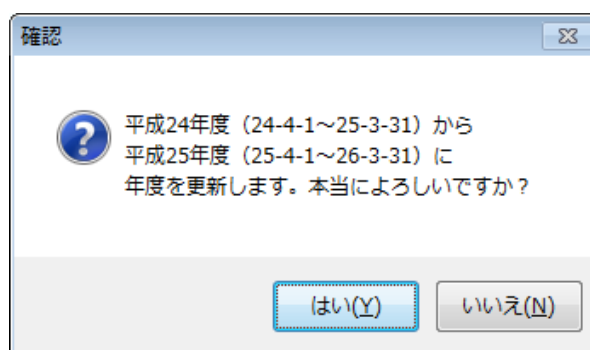


5. 下記のメッセージが表示されたら次年度処理は完了です。



※下記画面が表示された場合、年度に間違いがないか、必ずご確認ください。

2度目の年次更新（翌年度以降）の可能性があります。



次年度開始処理を行うことにより前年の科目が翌年に複写され、前年の残高や実績が翌年に反映されます。開始処理のあとに前年の科目設定を修正されると、整合性が取れなくなる可能性があります。

※ **修正が必要な場合、当社へご連絡ください。**

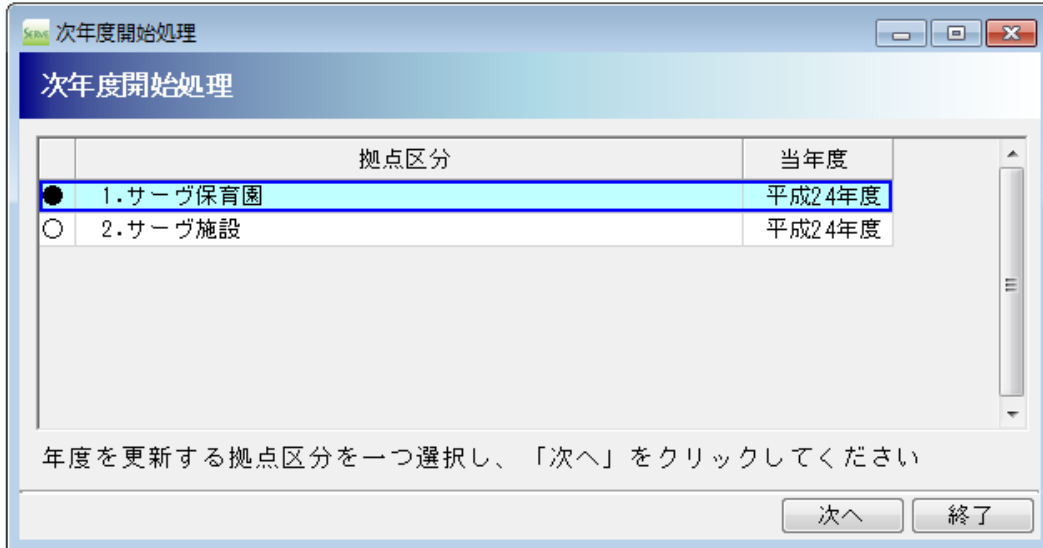
2. 次年度開始処理 (再)

決算処理メニュー → 次年度開始処理

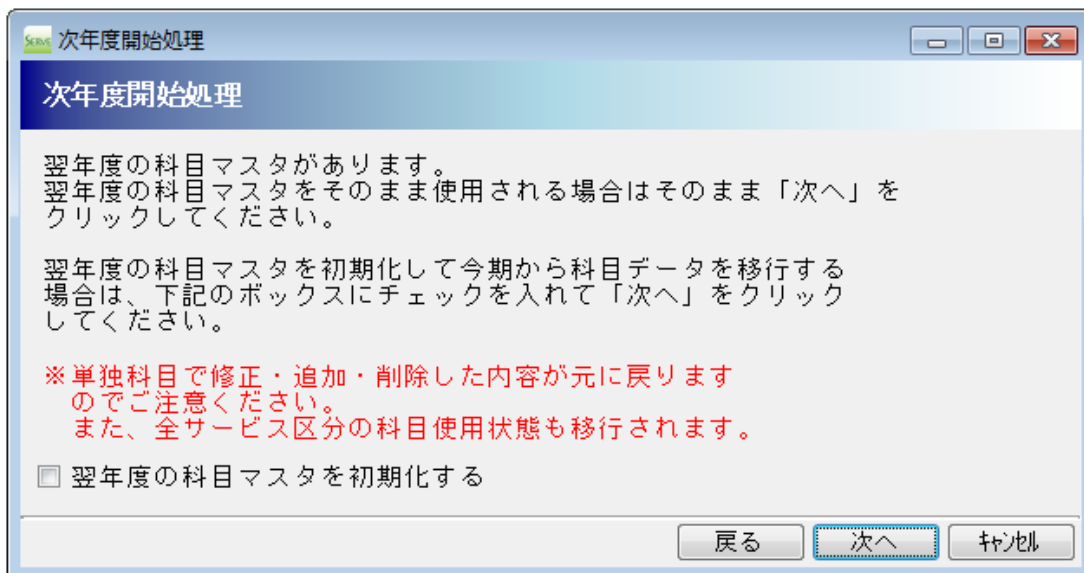
特殊な事情で、科目の修正を行った場合、繰越がつかない場合は再年次更新が必要です。

※ 必ず弊社サポートにご連絡ください。

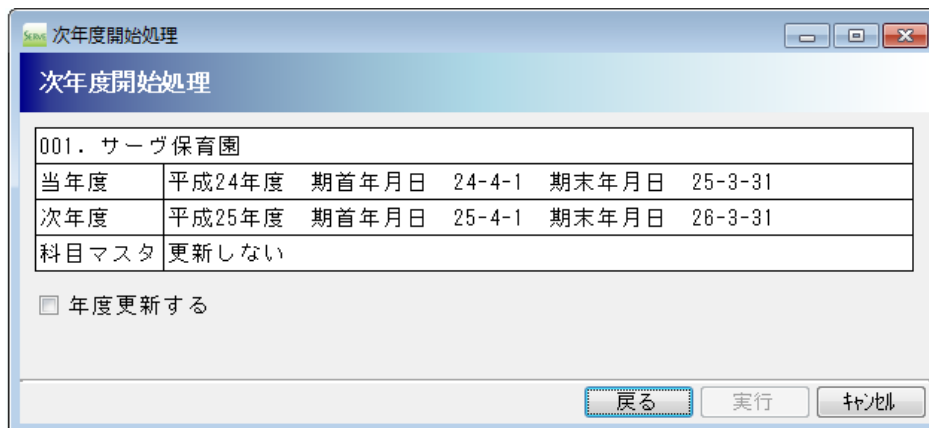
1. 初期設定の拠点区分マスタで前年にデータを修正します。
2. 年度を更新する拠点区分を選択し、**次へ** をクリックします。



3. 再年度更新時は、翌年度にすでに科目マスタのデータが存在します。
 翌年度に仕訳や予算データがない時は「翌年度の科目マスタを初期化する」にチェックを入れます。
 (年度更新をしすぎて年度を戻した時なども、この作業になります。)
 翌年度で仕訳や予算データなど、すでに通常使用している場合はチェックを入れないでください。
 翌年度で追加・削除している科目が、前年度の科目データに書き換えられます。
4. チェックの状態を確認し、**次へ** をクリックします。



5. 当年度と次年度が間違っていないか、必ずご確認ください。
6. 科目マスタが「初期化する」となっている場合は、前年度の科目マスタデータに書き換えます。
「更新しない」となっている場合は、翌年度の科目マスタデータはそのままです。
7. 内容に問題がなければ「年度更新する」にチェックを入れ、**実行** をクリックします。

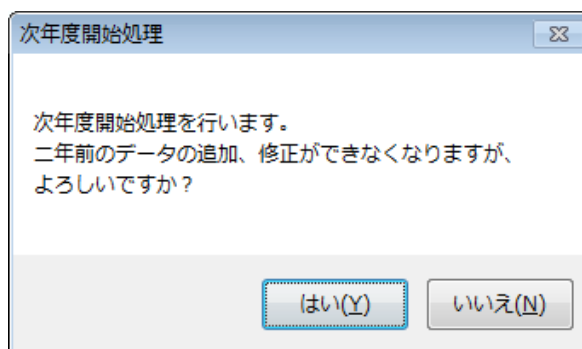


001. サーヴ保育園					
当年度	平成24年度	期首年月日	24-4-1	期末年月日	25-3-31
次年度	平成25年度	期首年月日	25-4-1	期末年月日	26-3-31
科目マスタ	更新しない				

年度更新する

戻る 実行 キャンセル

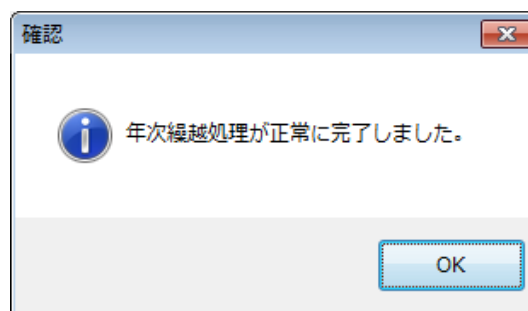
8. 前年データに対する修正等ができなくなることはありません。
また、前年の修正が行われた場合は正しく翌年に繰越も反映されますが、2年前のデータについて修正はできなくなります。(参照はできます)
9. 問題なければ、**はい** をクリックします。



次年度開始処理を行います。
二年前のデータの追加、修正ができなくなりますが、
よろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

10. 下記のメッセージが表示されれば、年度更新は完了です。



確認

年次繰越処理が正常に完了しました。

OK

<注意>

- ◆ 翌年度に仕訳や予算データがある状態で、「翌年度の科目マスタを初期化する」にチェックを入れて年度更新を実行しても、仕訳データ等が削除されるわけではありません。
- ◆ ただし、仕訳で使用していた科目が前年度に存在していなかった場合（翌年度で追加した科目）など、試算表など正しい金額が表示されなくなる可能性がありますのでご注意ください。